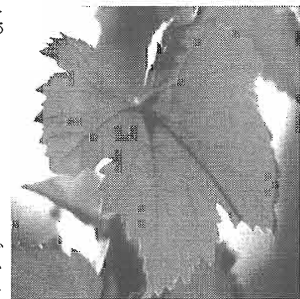


news

# 赤ブドウ葉が下肢むくみを軽減 国内ヒト試験で有効性確認 アスク薬品



赤ブドウ葉

むくみを軽減する機能を有することが示唆された。これにより、むくみの原因となる慢性静脈不全についても「赤

た。試験は、足のむくみを自覚している20歳以上70歳未満の女性17人を対象に実施。1日600mgの「赤ブドウ葉乾燥エキス製剤」とプラセボによる単盲検法クロスオーバー試験で、それぞれ摂取前と摂取開始6週後の下肢体積を水槽排水法で測定、むくみ量は午後

ブドウ葉乾燥エキス製剤」の摂取によって軽減される可能性も示唆された。今後、下肢静脈の血管機能などの下肢還流と関わる要因について検討すること、むくみや慢性静脈不全を改善する機序について明らかにできるのではないかとしている。

アスク薬品(千葉県市川市、047-3009-7598)は、「赤ブドウ葉乾燥エキス含有製剤の経口摂取による下肢のむくみ軽減効果」を学術誌「応用薬理」で発表し

その結果、「赤ブドウ葉乾燥エキス製剤」およびその原料である赤ブドウ葉乾燥エキスが下肢の

赤ブドウ葉は、ヨーロッパで古くから食されてきたポリフェノールな食材であり、足のむくみ・だるさ・静脈瘤の医薬品としても使用されている。同社の赤ブドウ葉エキスは、赤ワイン醸造用の

ブドウの葉を原材料にポリフェノールとアントシアニンの従来のフランス薬局規格に加え、良質の赤ワイン中に多く検出

されるトランスレスベラトロールに着目、規格成分としたもの。取り扱い実績は10年を越え、足のむくみや下肢静脈瘤の改

善による美脚訴求の商品などに採用されており、今後こうしたデータをもとにさらなる提案強化に努めていく。